

町政を問う！



砂田雅一 議員

特別徴収者（事業者）の町民税等の決定通知書にマイナンバーを書かないよう求める

問 特別徴収義務者（事業者）に対する住民税の決定通知書にマイナンバーを書かなくてもいいようにしていただきたい。

県内の自治体では、実際にマイナンバーを記入したのは少数であった。マイナンバーを記入することで漏洩の危険性があり、個人情報やプライバシーが守れない可能性があることが全国的に多くの団体から指摘されている。本町でもマイナンバーを決定通知書に記載しないとという方針を求めている。

答 本年度は国からの通知どお

り税額通知書に個人番号を記載し送付した。しかし、12月14日の官報速報では、来年度以降は書面による送付の場合は、マイナンバーを記載しない旨の案が示された。これが正式に決定すれば適切な対応をする。

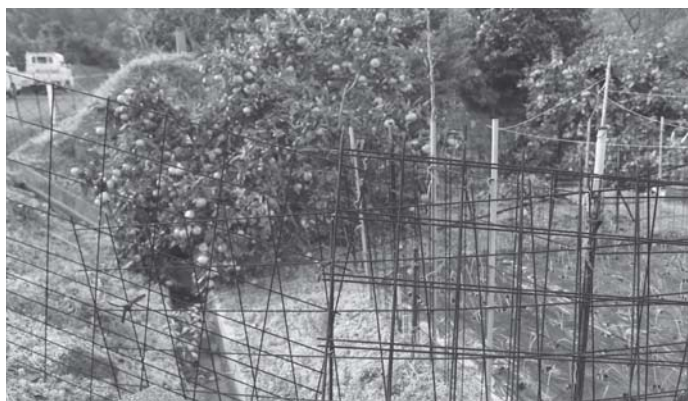
問 仮に記載することになっても、町長としては国の言いなりではなく、町民の個人情報を守るといふ立場に立つことを求める。全国でこの1年間にマスクミ発表では51の自治体で310人分の個人情報漏れた可能性があると指摘されている。

総務省は、通知書に記載しなくても市町村に対する罰則はないと言っている。

答 新しい法律などができるとき、それぞれの自治体が独自に判断するのは難しいと考える。

イノシシ被害に対するメッシュ柵への補助の拡充を求める

問 ワイヤメッシュに対する補助は、資材費の2分の1で上



茶色く錆びたワイヤーメッシュの柵

用の焼却施設を建設している自治体が増えている。本町も検討を求める。

答 猟友会に照会したが、当面、組織としての要望はないとの回答を得ている。

子どもの医療費助成制度の拡充について

問 子ども医療費に対する助成制度を高校卒業まで拡充していただきたい。県内2つの自治体で行っている。

県の資料によると、本町の子ども医療費の支出割合は少ないという数字もある。

答 本町の制度は、県内においても先進的な取り組みであり、制度拡充については、慎重に検討すべき課題である。

限額が5万円になっているが、この上限額の増額を求める。亜鉛メッキのメッシュ柵に換えたという方や、道路沿いの畑などの方からも聞いている。

イノシシの焼却施設の建設を求める

問 捕獲したイノシシを、穴を掘って埋める作業が大変だという声がある。その対策として専

